

令和7年度

肢体不自由教育部門

中学部

第1学年

⑤学習グループ

年間指導計画

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	国語			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい	(1) 抽象的な概念を表す語句を学び会話文章で使用することで、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 (2) 観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考えることができる。 (3) 進んで文章を読み理解や思考した事を知識経験と結び付け学習課題に沿い文章を書こうとしている。				
担当教職員 *学校介護職員	西坂 千恵美				
年間授業時数	144 単位時間				
使用教科書	光村図書出版				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	ダイコンは大きな根	11	文章の中心となる部分を捉える。 段落の役割について考える。 筆者の説明の仕方について話し合う。		・文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、今までの学習を生かして筆者の説明の工夫を伝え合おうとする ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむ。 ・進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとする。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解する。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉える。 ・場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈し考えを伝え合う。 ・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換える。 ・文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解する。
5	ちょっと立ち止まって	12	文章の構成に着目し、要旨を捉える。 文章の構成に着目し、序論・本論・結論の役割を知る 考えたことを伝え合う。		
6	大人になれなかった弟たちに	12	描写に着目して登場人物の心情を捉える。 題名のもつ意味について考える。 表記に込められた、作者の意図を考える。		
7	文法への扉1	10	「文法とは」を読み、文法の定義を理解する。 下段の練習問題に取り組み、理解したことを確認する。		
9	星の花が降る所に	12	「私」を中心に作品の内容を押さえる。 場面や描写を結び付けて内容を解釈する。 印象に残った場面や描写を語り合う。		
10	「言葉」をもつ鳥、シジュウ カラ	12	文章の構成と内容を捉える。 文章の構成や展開の効果を、根拠を明確にして考える。文章を読んで、考えたことを話し合う。		
11	文法への扉2	10	「文節どうしの関係」「連文節」「文の成分」「文の組み立て」を理解する。下段の練習問題に取り組み、理解したことを確認する。		
12	蓬萊の玉の枝「竹取物語」から	12	現代語訳やP169「古典の言葉」を参考に、現代の文章との違いを確かめる。 作品の内容を読み取り、古典の世界を想像する。		
1	今に生きる言葉	10	本文を読み、故事成語について理解する。 漢文の基礎知識を習得する。		
2	文法への扉3	8	「自立語・付属語」・「活用の有無」、「品詞」、「体言と用言」について理解する。下段の練習問題に取り組み、理解したことを確認する。		
3	少年の日の思い出	10	作品の展開を捉える。 表現に着目して、「僕」の心情の変化をまとめる。 別の人物の視点から文章を書き換える。		
通年	漢字	25	「漢字に親しもう1～5」に取り組む。		

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		社会			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい		(1) 主な国々の特色を基に世界の地域構成を大観し理解する。資料から歴史に関する情報を読み取ったり、年表にまとめたりする技能を身に付ける。 (2) 諸資料を活用して世界の地域構成の特色や歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 (3) 世界の地域構成や私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。				
担当教職員 *学校介護職員		沼口 珠紀				
年間授業時数		112 単位時間				
使用教科書		帝国46（703）社会科 中学生の地理世界の姿と日本の国土、東書2（705） 新しい社会 歴史				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫	
4	<地理的分野> 第1部 世界と日本の地域構成	12	○地球儀や世界地図を活用し、地球の表面、地域構成を知る。 ◆世界の地域区分や国々の名称と位置などをもとにして、世界の地域構成を捉える。地球儀と世界地図の利用方法を知り、活用できる。		・デジタル地球儀を活用し、国別名称当てクイズや調べ学習など、自らすすんで取り組むことができる課題を設定する。	
5	<地理的分野>第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境 第2章 世界の諸地域	22	○視聴覚資料から世界の諸地域の気候や、その中で生活を営む工夫を知る。 ◆世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察し、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。		・世界各地に興味をもつことができるよう、視聴覚資料を多く提示する。 ・世界の人々の生活を追体験できるよう、ロールプレイ等を行う。 ・既習事項をもとに、各州の人々の生活を考えられるよう、振り返りの時間を設ける。	
6	1 アジア州、2 ヨーロッパ州、3 アフリカ州					
7	<地理的分野>第2部 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域	22	○視聴覚資料から世界の諸地域の気候や、その中で生活を営む工夫を知る。 ◆世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察し、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。		・世界各地に興味をもつことができるよう、視聴覚資料を多く提示する。 ・世界の人々の生活を追体験できるよう、ロールプレイ等を行う。 ・既習事項をもとに、各州の人々の生活を考えられるよう、振り返りの時間を設ける。	
9	4 北アメリカ州、5 南アメリカ州、6 オセアニア州					
10	<歴史的分野>第1章 歴史へのとびら 1節 歴史をとらえる見方・考え方、2節 身近な地域の歴史	28	○年代の表し方、時代区分について知る。 ◆歴史を学ぶ意欲を高め、その意義について考える。 ○プリント、資料読み取り、視聴覚資料から人類史の始まりを知る。 ◆人類の出現、文明のおこりから各地に国家が生まれていく経緯を把握する。 ○プリント、資料読み取り、視聴覚資料から人類史の始まりを知る。 ◆人類の出現、文明のおこりから各地に国家が生まれていく経緯を把握する。		・歴史理解の基盤となる知識を確実に定着できるよう、小テスト等で振り返りを行う。 ・太古の人々の生活を想像できるよう、実物資料を多く使う。	
11	第2章 古代までの日本 1節 世界の古代文明と宗教のおこり、2節 日本列島の誕生と大陸との交流、3節 古代国家の歩みと東アジア世界					
12						
1	<歴史的分野> 第3章 中世の日本 1 節 武士の政権の成立 2 節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	18	○教科書、史料から中世の日本について知る。 ◆武士が登場し力を伸ばした理由を考察するとともに、その後の武家社会の基盤がこの時代に築かれたことを理解する。		・歴史的事象が流れとして捉えられるよう、書き込み年表等を使用する。	
2						
3	学習のまとめ	10	1年の学習の振り返りをする。			

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		数学			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい		(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 (2) 事象を論理的に考察する力、数量や図形を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員		小原 瑞騎				
年間授業時数		144 単位時間				
使用教科書		学校図書「中学校 数学 1」				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	正の数・負の数	26	○正の数・負の数、正負の数の四則演算、素数、素因数分解			・予想したり、同じように考えたり、筋道を立てて考えたり、まとめて1つとみたりするなどの、数学的な見方や考え方を適宜強調する。 ・今までの学年で学んでいる内容で理解が十分ではないものに関しては、プリントや宿題等で復習を適宜行い、理解の定着を図る。 ・パソコンやタブレット端末なども用いて視覚的な支援を行い、分かりやすく説明する。
5						
6	文字式	17	○文字式の表し方、1次式の計算			
7						
9	1次方程式	16	○等式と不等式、方程式の解き方と利用、比例式			
10	比例と反比例	22	○関数、比例と式、反比例			
11						
12	平面図形	18	○作図、垂直二等分線、角の二等分線、図形の移動			
1	空間図形	18	○空間図形の見方、展開図、表面積と体積			
2	データの活用	15	○データの傾向の調べ方、相対度数			
3	1年間の振り返り	12	○1年生で学んだ内容の振り返り			
通年						

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	理科			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい	(1)身近な事物・現象に関心を持ち、目的を明確にし観察や実験に取り組む。 (2)観察・実験を通し、分析・解釈する力を育む。 (3)自然界で起きている事物・現象への知識や理解を深める。				
担当教職員 *学校介護職員	佛京 隆広				
年間授業時数	106 単位時間				
使用教科書	啓林館「ひろがるサイエンス」				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	自然の中にあふれる生命	8	○身のまわりの生物の観察 ルーペや顕微鏡などの観察器具の操作方法を学ぶ。 ○生物のなかま分け 身の回りに生息する植物と動物を知る。		(1) 科学資料集や文献の図版などを用いて、見識を広める。 (2) 観察や実験を通し、実際に体験しながら理解を深めていく。 (3) 科書・ノートと復習用のプリントを通して、知識の定着を図る。
5	いろいろな生物とその共通点	20	○植物の特徴と分類 身近なところに生息する被子植物、裸子植物の根、茎、葉の違いを学習する。 ○動物の特徴と分類 身近な脊椎動物と無脊椎動物について特徴をまとめる。		
6					
7	身の回りの物質	28	○いろいろな物質とその性質 身の回りで使われている金属や有機化合物を使い、性質を学ぶ。		
9			○いろいろな気体とその性質 酸素、窒素、水素、二酸化炭素、水蒸気などの身近な気体を用いて実験を行い、その性質をまとめる。		
10			○水溶液の性質 ○物質のすがたとその変化 身の回りで使われている金属や有機化合物を使い、性質を学ぶ。		
11	光・音・力による現象	25	○光による現象 光の反射や屈折など、光速が媒質によって変化し、反射や屈折が起こることを学習する。 ○音による現象 金属中や水中で音が伝わることを確認し、音は振動だということを学習する。 ○力による現象 物体が接している点から力を書くなど基礎的な力の表示規則を学ぶ。		
12					
1	活きている地球	25	○身近な大地 地層の写真を見て地層のでき方を学習し、断層や鍵層など特徴的な層について学ぶ。 ○ゆれる大地 縦波（P波）横波（S波）を観察し地震の揺れの伝わり方を学習する。 ○火をふく大地 噴出物の違いから噴火した火山の形や活動の激しさを学習する。 ○語る大地 地震が起きやすい地域をプロットしたものとプレートの境界線を比べ、プレートの動きについて学ぶ。		
2					
3					
通年					

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程	
教科等名	音楽			学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1) 音楽の幅広い活動を通し、音楽を愛好する心情を育み、豊かな情操を培う。 (2) 演奏方法を創意工夫しながら、演奏や合奏をする力を付ける。 (3) 鑑賞などを通して、音楽文化への理解を深める。					
担当教職員 *学校介護職員	早坂 あまね					
年間授業時数	47 単位時間					
使用教科書	教育出版 「中学音楽1 音楽のおくりもの」「中学音楽2・3上下 音楽のおくりもの」「中学器楽1-3 音楽のおくりもの」					
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫	
4	楽典	4	○楽典 ○「くいしんぼうのラップ」 ◆音符や休符の長さの違いやシンコペーションを理解し、リズムパターンを作ることができる。 ◆様々なリズムで掛け合いをすることができる。		・長さの違いを分かりやすくするため、手で拍を叩いたり、記号を細かく分解する。 ・カードを使い、視覚的に分かりやすくする。	
5	歌唱	6	○歌うための準備 ○「ラバーズ・コンチェルト」 ○「主は冷たい土の中に」 ◆身体をリラックスさせ発声することができる。			・身体を温めるため、ストレッチを行う。 ・正しい発声をするため、姿勢を整える。 ・範唱を聴く。
6	鑑賞	6	○「春」第1楽章 ◆楽曲の雰囲気、表現を感じ取ることができる。 ◆作曲者について理解を深めることができる。			・ヴィヴァルディの有名な楽曲を鑑賞し、作曲者理解を深める。
7	歌唱	6	○「ラバーズ・コンチェルト」 ○「夏は来ぬ」 ◆歌詞の意味や示されている情景を想像して歌唱表現することができる。		・歌詞の意味を理解するため、ICT機器を使用し、調べ学習を行う。	
9 10	合奏 鑑賞	8	○「茶色い小瓶」 ○「Sing Sing Sing」 ◆楽曲や歴史を学びジャズに興味をもつことができる ◆友達とタイミングを合わせて曲を完成させることができる。 ◆楽譜を見て、工夫して演奏することができる。 ○「魔王」 ◆物語の内容や歌詞を理解し、表現を感じ取り鑑賞することができる。 ◆作曲者について理解を深めることができる。 ◆ドイツ語の曲に興味をもつことができる。		・有名な楽曲を観賞する。 ・楽譜を見やすくするため、印を付ける。 ・日本語とドイツ語の曲を聴き比べる。 ・有名なドイツ語の曲を鑑賞する。	
11 12	合唱	8	○「あくびのうた」 ○「マイパレード」 ◆曲想の違いを感じ取って表現を工夫することができる。 ◆音色やハーモニーを捉えながら合唱表現をすることができる。		・ストレッチをしっかりと行う。 ・パートごとの音取りを繰り返し行う。 ・強弱記号に印を付け、分かりやすくする。	
1	鑑賞	4	○西洋音楽史 ◆作曲者や有名楽曲から特徴を捉えクラシックへの理解を深めることができる。 ○「カルメン前奏曲」 ◆物語の内容を理解し、舞台での表現を感じ取り鑑賞することができる。 ◆作曲者について理解を深めることができる。		・日本の歴史と比べられる年表を使用する。 ・相関図を使用し物語を分かりやすくする。	
2 3	合唱	4	○「犬のおなか」 ○「翼をください」 ◆ブレスや強弱、フレージングを意識して歌唱することができる。 ◆曲想の違いを感じ取って表現を工夫することができる。		・ストレッチをしっかりと行う。 ・パートごとの音取りを繰り返し行う。 ・強弱記号に印を付け、分かりやすくする。	
	一年間のまとめ	1				・見通しがもてるよう授業全体の流れを呈示する。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	美術			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい	(1) テーマや素材などから発想を広げて自分らしい作品を作る。 (2) 様々な素材や道具を使って、楽しんで創作する。 (3) 綺麗なものの美しいものに興味を向け、自分の見方や感じ方を広げる。				
担当教職員 *学校介護職員	門脇 美江 早坂 あまね				
年間授業時数	46 単位時間				
使用教科書	日本文教出版「美術1 出会いと広がり」				
月	単元(題材) 名	指導時数	主な学習内容	指導上の工夫	
4	色彩の仕組み 【絵画】四季の風景	24	○一年間の授業で生かすことができる色彩について知識を深める。 ◆色相環や色相、彩度、明度の効果が分かる。 ◆ワークシートに取り組み、色彩の効果等に関心をもつことができる。	・生徒の個別の実態を把握し、今後の授業に生かせるように丁寧に指導する。	
5					
6	【デザイン】 アニメーション		○こま撮りでアニメーションを撮影し、編集して作品を作る。 ◆簡単なストーリーを絵コンテに表し、制作過程に見通しをもちながら作る。 ◆デジタルツールを使い、イメージを映像で表現することができる。	・作る作品についてタブレット端末を用い調べ学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じるたことを言葉で表す ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。	
7	【工芸】 (陶芸)		○様々な技法を知り、自分にイメージに合った方法で作品を作る。 ◆成形の基本的な技法を身に付ける。 ◆制作過程に見通しをもち、適切な技法を判断して作る。 ◆自他の作品に興味をもって鑑賞できる。		
9	【工芸】 (陶芸)	17	○コラグラフの技法を知り、版を使った方法で作品を作る。 ◆素材の持つ質感から、テクスチャーをイメージしながら平面を構成することができる。 ◆制作過程に見通しをもち、適切な技法を判断して作る。 ◆自他の作品に興味をもって鑑賞できる。	・作る作品についてタブレット端末を用い調べ学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じるたことを言葉で表す。 ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。	
10					
11	【版画】 コラグラフ		○コラグラフの技法を知り、版を使った方法で作品を作る。 ◆素材の持つ質感から、テクスチャーをイメージしながら平面を構成することができる。 ◆制作過程に見通しをもち、適切な技法を判断して作る。 ◆自他の作品に興味をもって鑑賞できる。	・作る作品についてタブレット端末を用い調べ学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じるたことを言葉で表す。 ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。	
12					
1	【デザイン】 (オリジナル時計の制作)	5	○イメージに合わせて実用的な時計のデザインをし、作品を仕上げる。 ◆完成予想図をもち、イメージに合わせた制作ができる。 ◆色彩の効果(視認性など)について配慮した上でデザインを考え、制作できる。	・作る作品についてタブレット端末を用い調べ学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じるたことを言葉で表す。 ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。	
2					
3					
通年	鑑賞		自他の作品を鑑賞して、良い点を発表する。		

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		保健体育			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい		(1) 運動の特性に応じた技能等及び、自分の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 各種の運動や健康・安全についての自分の課題を見付け、その解決に向けて自ら思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむことや健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員		高橋 大幸				
年間授業時数		40 単位時間				
使用教科書		新編新しい保健体育				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	体育祭に向けて 陸上競技・球技	10	○集合、整列、集団行動 ○課題走球技など			・課題解決場面を設定し、助け合う・話し合う活動を行う。
5						
6	水泳	8	○水慣れ、浮き身、泳法指導 ○傷害の発生要因 ○交通事故の発生要因 ○交通事故の危険予測と回避 ○犯罪被害の防止 ○自然災害による危険 ○応急手当と心肺蘇生方			・室温、水温、WBGTを管理し、安全に入水できるようにする。 ・学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化できるようにする。 ・個に応じた課題を設定する。 ・ICT機器を使用する。 ・実態や課題に合わせてグルーピングをする。 ・教科書や映像を提示しながら授業を進める。
7	保健「傷害の防止」					
9						
10	集団行動・マスゲームダンス	12	○集団行動・ダンス ○生活習慣病の起こり方 ○がんの予防 ○喫煙、飲酒、薬物乱用の害と健康 ○薬物乱用の社会的影響			・集団行動として、友達と協力する場面を設定する。 ・集団や空間を意識できるように、集合したり整列したりする。 ・各種運動ごとに学習プリントを使用し、ルールや競技方法、自己評価、次時の目標を振り返ることができるようにする。 ・動画等で手本を見たり、ICT機器を使用したりする。
11	保健「健康な生活と疾病の予防」					
12						
1	生涯スポーツ・武道	10	○生涯スポーツ ○剣道：基本動作・面・小手 ○運動やスポーツの効果 ○運動やスポーツの安全な行い方			・学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化できるようにする。 ・教科書や映像を提示しながら授業を進める。
2	保健「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」					
3						
通年	性教育		○心身の発達と心の健康			・男女の心身の特徴を基に、お互いを受容する態度を育成し、望ましい人間関係を築けるよう授業を展開する。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	技術・家庭			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい	(1) 社会や生活、自立に必要な基礎的な知識と技能を習得する。 (2) 社会生活に必要な事柄について考え、課題を設定し、解決策を考え、実践し、表現するなどして、課題を解決する能力を身に付ける。 (3) 社会生活を大切にする心情を育みながら課題解決に主体的に取り組み、社会の一員として生活をより良くしようとする実践的な態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	保呂草健 並木美由紀				
年間授業時数	74 単位時間				
使用教科書	東京書籍「新編 新しい技術家庭 技術分野」 開隆堂「技術・家庭 家庭分野」				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	指導上の工夫	
4	○生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 ○エネルギー変換の技術による問題解決 ○社会の発展とエネルギー変換の技術	22	○身の回りのエネルギー変換の技術 ○発電の仕組みと特徴 ○電気回路の仕組み ○電気機器を安全に使用するための技術 ○運動エネルギーへの変換と利用 ○エネルギー変換の技術の最適化	・身の回りの製品に込められた技術や技術の発達について調べさせ、技術分野の学習への関心を高める。 ・安全に気を付けて実習を行う。 ・具体物を教材に活用して理解を促す。 ・様々な情報コンテンツを活用して興味関心を高める。	
5					
6					
7	○生活や社会を支える情報の技術	14	○身の回りの情報の技術 ○コンピュータの仕組み ○情報のデジタル化 ○情報通信ネットワークの仕組み	・ICT、具体物や視覚支援を利用する。 ・実際の操作や事例紹介や実習などを通して、理解や思考の支援を行う。	
9					
10	○食生活を豊かにするために ・日常食の調理のために ・栄養素の種類と働き ・食品に含まれる栄養素	26	調理の基礎技術（計量器具の使い方、調理道具の使い方） 日常食の調理（洗う、切る、調理、片付け） 五大栄養素 6つの基礎食品群と、食品群別摂取量のめやす	・安全と衛生に気を付けて実習を行う。 ・実習を通して、自分の課題に気付き、解決策を一緒に考えながら実習を進められるようにする。 ・絵カードやプレゼンテーションソフトなどで視覚的に分かりやすくする。 ・資料を提示し、興味や関心がもてるようにする。	
11					
12					
1					
2	○衣生活と自立 ・製作の基礎技能 ・小物類の製作 ・衣服の手入れ	12	裁断、ミシン縫いの基礎（直線縫い、返し縫い） 小物類の製作 洗濯（洗剤の種類、洗濯機の使い方）	・見本や資料を提示し、視覚的に分かりやすくし、見通しがもてるようにする。 ・実習を通して、自分の課題に気付き、解決策を一緒に考えながら製作や実習を進められるようにする。	
3					
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		外国語			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい		(1)Listening、 Speaking、 Reading、 Writingの初歩的な知識・技能の習得を図る。 (2) 外国語やALTとの学習を通じて、外国の言語や表現、文化に対する理解を深める。 (3) 主体的にコミュニケーションを取ろうとする態度を育成する。				
担当教職員 *学校介護職員		中村 美和				
年間授業時数		140 単位時間				
使用教科書		東京書籍「NEW HORIZON 1」				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	Unit 0 Nice to meet you	12	○場面の表現 ◆クラスメートと挨拶をしたり、好きなものを尋ね合ったりすることができる。			・身近な事柄から能動態と受動態を比較できる例文を提示し、受け身の形を実感できるようにする。 ・自分自身の経験を用いて、現在形、過去形と現在完了形を比較し、用法を理解できるようにする。 ・ALTとの授業後に、再度、復習することで知識の定着を図る。どんな言葉伝えたいか、それをどんな英語で表現できる考えるようにする。
5	Unit 1 Hello, Everyone	12	○1人称・2人称のbe動詞・一般動詞の文 ◆自分のことを伝えたり、相手のことを尋ねたりすることができる。			
6	Unit 2 Our New Teacher	12	○3人称のbe動詞の文、助動詞canの文 ◆身近な人やものについて紹介したり、尋ねたりすることができる。			
7	Unit3 Our School	12	○疑問詞What、Who、How、When、Where ◆知らないものや人についてたずねたり、いつ、どこなのかを尋ねたりすることができる。			
9	Unit4 Friends in New Zealand	12	○How many…?、What time…?、命令文 ◆数や時刻、好きなものについて尋ねたり、指示や助言をしたりすることができる。			
10	Unit5 My brother in Hawaii	12	○三人称単数現在形の文 ◆自分と相手以外の人やものについて、尋ねたり伝えたりすることができる。			
11	Unit6 A Rakugo performer from the U.K.	12	○人称代名詞、疑問詞Whose、Whichの文 ◆自分と相手以外の人について話したり、だれのものかを尋ねたりすることができる。			
12	Unit7 An Online Tour of the U.K.	12	○現在進行形の文 ◆今していることについて説明したり、尋ねたりすることができる。			
1	Unit8 Think Globally, Act Locally	12	Owant (need) to…、look＋形容詞の文 ◆したいことや、する必要のあることについて説明したり、尋ねたりすることができる。			
2	Unit9 Winter Vacation	12	○一般動詞の過去形の文 ◆過去の出来事について説明したり、尋ねたりすることができる。			
3	Unit10 The Year’s Memories	12	Obe動詞の過去形、過去進行形、There isの文 ◆過去の状態や気持ち、過去のある時点でしていたことについて説明することができる。			
通年	英語でのやり取りを中心とした学習（ALT）	8	○教科書Let’s talk ◆コミュニケーションを取ろうとする態度を育成し、技能の向上を図る。			

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		道徳			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい		(1) 集団や社会でのルールやマナーなどについての理解を深める。 (2) 自分や他の人に対する理解を深め、考えや意見を自ら表現する。 (3) 自然や崇高なものに興味をもち、理解を深める。				
担当教職員 *学校介護職員		西坂 千恵美				
年間授業時数		36 単位時間				
使用教科書		きみがいちばんひかるとき 1・2・3年				
月	単元(題材) 名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	A [向上心、個性の伸長]	3	○自己紹介、他己紹介 ◆自分の興味や関心について考える。			自己を見つめ、事故の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。
5	B [相互理解・寛容]	8	○グループエクササイズ、コミュニケーションゲーム ◆お互いを認め合う心を育てる。			自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。
6						
7	A [真理の探究、創造]	2	○課題や問題点に対して自分なりの意見をもち、伝える。 ◆答えが一つではない問題について考え、自分の意見をもつ。			真実を大切にし、審理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。
9	C [遵法精神、公德心] あすを生きる1	3	○インターネット使用時のルールや著作権について知る。 ◆法やきまりの意義を理解し、自他の権利を重んじる自覚と判断力を養う。			法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい 在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある 安定した社会の実現に努めること。
10	B [礼儀の心] あすを生きる1	4	○礼儀、マナーについて考え、話し合う。 ◆あいさつの意義を理解し、場面に応じて適切な言動をしようとする実践意欲と態度を育てる。			礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。
11	D [生命の尊さ] きみがいちばんひかるとき1	4	○命の尊さについて自分の意見を発表し、友達と話し合う。 ◆生命のかけがえのなさを理解し、生命を大切にしようとする態度を育てる。			生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、 かけがえのない生命を尊重すること。
12	A [希望と勇気、克己と強い意志]	2	○グループ学習発表練習 ◆困難や失敗を乗り越えて、着実にやり遂げる気持ちを育てる。			より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗 を乗り越えて着実にやり遂げること。
1	C [国際理解、国際貢献]	3	○SDGs について学び、考える。 ◆国際的視野に立ち、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。			世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、 世界の平和と人類の発展に寄与すること。
2	C [勤労]	4	○疑似仕事体験 ◆働くことの素晴らしさについて学ぼうとする実践意欲を育てる。			勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、 勤労を通じて社会に貢献すること。
3	B [思いやり、感謝]	3	○1年間の自分を振り返る ◆多くの人によって支えられ、守られていることに気付き、感謝する態度を育てる。			思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の 善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、 人間愛の精神を深めること。
通年						

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	特別活動			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい	(1) 学習や活動に工夫して取り組む楽しさを知る。 (2) 身近な仲間を意識し、協力し合う方法を考えながら学校生活を送る。 (3) 行事への期待感や興味・関心を高め、自主的・主体的に活動する。				
担当教職員 *学校介護職員	萩原圭介 高橋大幸 保呂草健 佛京隆広 齊藤尚寛 中村美和 *小野佳子 *池田敏行 *市野明彦				
年間授業時数	39 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	オリエンテーション	1	○行事や学習内容に関するオリエンテーション。 ◆学校生活に見通しや期待感をもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
	新入生歓迎会	2	○自己紹介、レクリエーション。 ◆新入生歓迎会を通して学部仲間や雰囲気を知る。		・自分なりの方法で自己紹介できるよう練習し、見通しをもち参加できるようにする。
5	体育祭	6	○体育祭の競技種目を知る。 ○体育祭の競技種目を体験し、互いに励まし合い、練習する。 ◆体育祭に見通しをもち、参加する。		・支援具を工夫し、自分なりの方法で活動できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。
6	レクリエーション	4	○モルック、ゲームなど ◆レクリエーションを通して、仲間や身近な支援者を意識しながら活動する。		・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。
7	1学期を振り返って	1	○発声やスイッチなどの方法で主体的に発表する。 ◆1学期を振り返り、頑張ったことを発表する。		・自分なりの方法で発表できるよう支援する。
9	2学期の予定	1	○2学期の主な行事予定を確認する。 ◆2学期の行事予定を知り、見通しをもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
	宿泊防災訓練	4	○スライド教材を見て、日程や行程について確認する。 ○目標や係活動を決め、事前準備をする。 ○頑張ったことなどを発表する。 ◆宿泊防災訓練について内容を知り、見通しをもつ ◆各自の目標を決め、主体的に参加する。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。 ・仲間を意識して考えたり、発表したりできる活動を設定する。
10	墨東祭について	8	○墨東祭の発表内容を協力して考える。 ○発表の練習をする。 ○小道具や背景などを作成する。 ○墨東祭を振り返る。 ◆発表の練習や道具の制作を、見通しをもち主体的に参加する。		・自分なりの方法で活動できるよう支援具を工夫したり、繰り返し練習したりし、見通しをもち参加できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。
11					・仲間を意識して考えたり、発表したりできる活動を設定する。
12	2学期を振り返って	1	○2学期を振り返り、頑張ったことを発表する。 ◆2学期を振り返り、頑張ったことについてお互いに発表し合う。		・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを行う。
1	3学期の予定	1	○3学期の主な行事予定を確認する。 ◆3学期の行事予定を知り、見通しをもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
2	3年生を送る会に向けて	5	○3年生を送る会の準備をする。 ◆3年生を意識して送る準備を主体的に行う。		・これまでの送る会の写真を見て、自分たちなりの送り方を考えられるように支援する。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。
3	卒業式に向けて	3	○卒業式の練習に参加する。 ◆卒業式に向けて、式へ参加する心構えと見通しをもつ。		・見通しがもてるように、絵カードを提示したり、言葉掛けをしたりする。
	1年生を振り返って 進級に向けて	2	○1年生を振り返って、1年間頑張ったことを考え、発表する。 ○2年生に向けて頑張りたいことや挑戦したいことを考える。 ◆1年を振り返り、進級に向けて目標を確認する。		・自分なりの方法で発表できるよう支援する。 ・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを行う。
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	自立活動			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい	(1) 障害による学習上、生活上の困難を知り、改善する。 (2) いろいろな姿勢や動作を経験することで、自分自身の身体とその動きを感じ、受け入れる力を付ける。 (3) ストレッチなど、変形や拘縮の予防につながる活動をすすんで行う。				
担当教職員 *学校介護職員	高橋大幸 西坂千恵美 早坂あまね 佐伯かおり 齋藤篤彦				
年間授業時数	73 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
通年	身体の取り組み コミュニケーション	73	・ストレッチ ・姿勢変換(臥位から座位へ、寝返り、車いすから床への移乗、床から車いすへの移乗など) ・姿勢保持(座位、膝立ち、立位など) ・歩行練習 ・手指の操作性を高める取り組み ・全身の連動性を高める取り組み ・視機能を高める取り組み ・コミュニケーションゲーム		・身体の取り組みを行う際には適切な指導を行えるよう、個々の身体の状態を細かく把握し、共有する。 ・日々の生活において自分自身で行えるような活動を外部専門員と相談し、決定する。 ・正しいコミュニケーションの方法や言葉遣いの例示を行う。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		中学部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		総合的な学習の時間			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい		(1) 自分の考えを相手に伝える方法を知る。 (2)) 相手の意見をふまえた上で、自分の考えをもち、自分で判断し問題解決につなげる資質を身に付ける。 (3) 学び方やものの考え方を身に付け、多くの活動に主体的、協同的に取り組む経験を積む。				
担当教職員 *学校介護職員		早坂あまね、高橋 大幸、西坂千恵美				
年間授業時数		70 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	自己紹介 今年度の目標設定	4	自分のことを自分の言葉で紹介する。 自己の目標、グループの目標を設定する。			(1) 自分の考えを相手に伝える方法を知る。 (2) 相手の意見をふまえた上で、自分の考えをもち、自分で判断し問題解決につなげる資質を身に付ける。 (3) 学び方やものの考え方を身に付け、多くの活動に主体的、協同的に取り組む経験を積む。
5	校外学習（事前学習）	6	国会議事堂についての調べ学習・発表 しおり作成			
6						
7	校外学習（事後学習） 情報リテラシー学習	6	校外学習で学んだことをまとめる。 情報リテラシー、SNSの使い方 インターネットの適切な使い方を身に付ける。			
9						
10	防災マップ作り	6	学校周辺の防災マップを作成し防災についての知識を深める。			
11	AEDマップ作り	6	AEDの使い方を理解する。 学校周辺のAEDの設置場所を調べ、マップにする。			
12						
1	ビジネスマナー 買い物学習	6	職場体験学習に向け、礼儀、マナーについて考え、話し合う。 公共施設を利用するときのマナーを学ぶ。			
2	進路学習	8	人生予想図作成 適正把握 高校、大学、職業についての調べ学習 高校や大学、職業について学び、自分に合った進路について考える。			
3						
通年	栽培活動、読書活動	22	作物や植物を栽培する。学校図書館を利用する。			